

「経営改善策検討支援等業務委託（概算契約）」
公募型プロポーザル方式 選定結果について

1 案件名称

経営改善策検討支援等業務委託（概算契約）

契約期間 契約締結日から令和10年3月31日（金）まで

2 選定した委託予定事業者

有限責任監査法人トーマツ

3 公募期間（公募開始～企画提案書の提出期限）

令和8年3月19日（木）から令和8年4月28日（火）

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略・五十音順）

委員氏名	役職等
岡嶋 大城	産経新聞大阪本社 編集局 報道本部 部次長
高木 亮祐	神戸市水道局 経営企画課 課長（水道政策担当）
水上 啓吾	大阪公立大学大学院 経営学研究科 教授

(2) 選定会議の開催日

令和8年5月8日（金）

(3) 審査基準

項目	審査基準	配点	
業務全般	ア 業務目的の理解	本業務の背景、趣旨、目的を正しく理解しているか。	10点
	イ 実現性	本業務の企画、スケジュールは無理なく進められるものとなっているか。 また各業務工程において、本業務を円滑に遂行できるか。	10点
		過去10年間に、国、地方公共団体又は水道事業者が発注する類似した事業実績があり、情報やノウハウの蓄積がされているか。	10点
	ウ 業務体制	実施体制や役割分担は、本業務を円滑に遂行できるか。 提案内容について、適切な業務を期限内に提供できる人材を確保しているか。	10点

有識者会議に係る運営支援	エ 企画編集力	市民向け広報資料の作成について、文字ベースで作成される中間報告書や最終報告書を単純に図解化するだけでなく、市民が理解しやすい構成と創意工夫が意識された提案となっているか。	20点
	オ 企画内容	<ul style="list-style-type: none"> 参加者にとって魅力的なテーマが選定されているか。 本市水道事業の現状、諸課題への理解促進や共感の深化につながるテーマが選定されているか。 	20点
ゼミナール企画運営		<ul style="list-style-type: none"> 事業目的を達成するためのゼミナール内容・構成となっているか。 将来あるべき水道のあり方やその負担について実現可能かつ具体的な内容となっているか。 同世代へ向けたメッセージを作成できるような提案となっているか。 提案者（民間）のノウハウを活かし創意工夫された内容となっているか。 市民向け広報資料の広報の手法について、より効果的に、若年層に広報できるような提案となっているか。 	20点
	合計		100点

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

EY 新日本有限責任監査法人
株式会社浜銀総合研究所
有限責任あずさ監査法人
有限責任監査法人トーマツ

全4事業者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点 降順）

項目		①	②	③	④
業務全般	ア 業務目的の理解	22点	24点	24点	22点
	イ 実現性	24点	24点	24点	22点
		26点	24点	20点	22点
	ウ 業務体制	26点	22点	26点	20点

有識者会議に係る運営支援	エ 企画編集力	56 点	52 点	48 点	44 点
ゼミナール企画運営	オ 企画内容	52 点	56 点	48 点	48 点
		52 点	52 点	40 点	40 点
合 計		258 点	254 点	230 点	218 点

(6) 付帯意見

- ・ゼミナールに参加する大学生が、若年層にも理解しやすく、自分ごととして受け止めやすい強いメッセージ性を持つ成果物を作成できるよう支援されたい。なお、その成果物の作成にあたっては、対象として若者世代を含む幅広い層を視野に入れ、多様な発想で取り組むことが望ましい。
- ・また、心に響く伝え方を実現するために、専門家から大学生が学ぶ機会を設け、その学びを踏まえた上でメッセージ作成に取り組めるよう、適切な支援体制を構築されたい。